

新聞について思ったこと

針原小学校六年一組 島田千帆

私は「新聞の果たす役割」といいたし、新聞記者だったというこの二つについて考えをみましました。

「新聞の果たす役割」では、前に「国語の時間」にならった「電話と手紙」とちがいで伝えると良いか、と使う学習を習った考えと同じでテレビと新聞で考えると情報を一速く伝えることのできるのテレビだけと、テレビは聞

きのかすと分からなくなるのでごまりますが新聞は紙に字で書いてあることから、何度も読めるし、少しでもくわしくかいてあると思うので、それはあたりまえだけと、それが役に立っていると思いは新聞の果たす役割だと思ひます。

もし、私が新聞記者だったらというのでは、まねしたいことがあります。それは、色々な写真や絵の下にくわしく説明した文があるて分かりやすいこと、か良くてまねしたいで

す。それに、まわりにも他の写真や絵があったとして、この文にっいての写真、絵はこれだ。となるので分かりやすいと思います。

新聞を作る時のルールはよく知らないけれど、私から新聞を読むようになったことは一つありません。それは新聞記者の方たちが考えられている事か読みやすいことになって、いるので感識してきます。そして、もし私が新聞記者の仕事をするなら今分かる良いところ、分かりやすいところを生かし、イヤントなどの楽しい記事を作るときは明るい色を使つて読みやすくしたいです。悲しい記事ならば白と黒を中心に作つて、たり、情報などは明るい色、暗い色ばかりたりして少し見ただけでも、今日は楽しいめろユースか、ないと思えたり分かるので私だからそのようないことをしたい、と思います。

新聞の果たす役割とは、読む側になつて紙にかくということの良いところを生かされ、いて、情報かくらしいです。新聞はとも

役に立っているので、新聞を読むことを心がけて、新聞の良いところをもっと見つけていきたいと思いました。